

山梨大学医学部

〒409-3898

山梨県中央市下河東1110番地

TEL:055-273-1111(代表)

Eメール: soumu2010-med@yamanashi.ac.jp

●基礎医学系講座

講座名	役職	氏名	研究
解剖分子組織学	教授	大野 伸一	・生体内において生理的機能を営む微細構造を直接検索する生体
	講師	大野 伸彦	内凍結技法と生体内凍結装置の開発
	助教	齊藤 成	・生体内凍結技法による“生きた動物”細胞組織の機能形態学的解析
	助教	齊藤 百合花	・解剖学講座分子組織学教室
解剖細胞生物学	教授	竹田 扇	・線毛の構造と機能の研究(線毛の形成メカニズム)
	講師	成田 啓之	・一次線毛による脳脊髄液産生機構の分子生物学的研究
	助教	吉村 健太郎	・グリア細胞における一次線毛とヘッジホッグシグナルの関係
	助教	河田 かずみ	及びその生理機能の解析
生理学1	教授	有田 順	・エストロジェンの細胞増殖に対する作用
	講師	三枝 岳志	・エストロジェンの認知機能に対する作用
	助教	石田 真帆	・循環調節における脳内アンジオテンシンの役割
	助教	三井 哲雄	
生理学2	教授	佐藤 悠	・大脳聴覚野の音分析機構の電気生理学的解明
	准教授	秦 嶺	・音響パラメータと認知との関係の解明
	助教	地本 宗平	・認知と行動:音の認知心理学と脳神経活動との関係研究
	助教	酒井 雅史	・聴覚言語の神経機構
生化学1	教授	大塚 稔久	・神経プレシナプス・アクティブゾーン形成の分子基盤
	助教	萩原 明	・神経終末における新たなシグナル伝達機構の解明
			・神経スパイン形成の細胞・分子メカニズム
			・プレシナプスとポストシナプスを繋ぐ細胞接着機構の解明
生化学2	教授	三井 和浩	・情動の発現・修飾における嗅覚神経回路の役割
	教授	宮澤 恵二	・新規制御機能改変マウスを用いたSrcタンパク質の機能解析
	准教授	齋藤 正夫	・ATP合成酵素の活性制御に関わるシグナル伝達経路及び活性制御機構の解明
	助教	望月 光由	・生殖細胞形成、生殖能維持におけるミトコンドリアの役割
助教	許 昭俊	・TGF- β の作用とcellular contextの分子的基盤	
薬理学	教授	小泉 修一	・乳癌悪性化の分子機構の研究
	講師	篠崎 陽一	・TGF- β のシグナル伝達調節因子の研究
	助教	繁富 英治	・血管内皮細胞分化のシグナル伝達機構
	助教	柴田 圭輔	・細胞老化の分子メカニズム
分子病理学	教授	範 江林	・がん悪性化に関与するSmad cofactorの同定と制御
	助教	小池 智也	・TGF- β による上皮間葉転換(EMT)の分子機構の解析
	助教	康 徳東	・グリア細胞が脳の生理機能に与える影響及びその分子メカニズムに関する研究(小泉・篠崎・繁富)
			・グリア細胞の機能変調が脳の病態生理機能に与える影響及びその分子メカニズムに関する研究(小泉・篠崎・柴田)
微生物学	教授	森石 恒司	・グリア創薬(小泉・篠崎・繁富・柴田)
	准教授	加藤 伊陽子	・ATP/P2受容体の機能解析(小泉・篠崎・繁富・柴田)
	助教	山下 篤哉	・脳保護・修復におけるグリア細胞の役割とその分子メカニズム(小泉・篠崎)
	助教	葛西 宏威	・グリアの情報受信及び発信イメージング及びその分子メカニズム(小泉・繁富)
免疫学	教授	中尾 篤人	・グリア細胞と痛覚ネットワーク制御(小泉・柴田)
	准教授	中川 竜介	・遺伝子改変ウサギモデルの開発と、それを用いた研究
	助教	中村 勇規	・動脈硬化の診断を目的とした新規造影剤の開発
	助教	林 杏子	・有用な疾患ウサギモデルを用いて、臨床応用を目的とした新規薬剤、治療機器、治療法の開発

講座名	役職	氏名	研究
法医学	教授 准教授 助教	安達 登 猩々 英紀 西園 敏子	<ul style="list-style-type: none"> ・ミトコンドリアDNA解析を用いた古人骨の系統・血縁推定に関する研究 ・日本版ボディーファーム：大型動物死体を用いた死体现象再現実験 ・頭部外傷に伴う損傷脳の研究 ・細胞内小器官の生活反応の解明 ・法医解剖に関する症例研究 ・淡水溺死例における、プランクトンの検出と同定 ・自殺企図事例における精神療法の有効性
環境遺伝医学	教授 准教授 助教 (学部内講師) 助教	久保田 健夫 長井 薫 平澤(奥野)孝枝 三宅 邦夫	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害解明のための新しい遺伝学的アプローチ ・エピジェネティクスに基づく発達障害の新しい病態理解と新治療法の確立 ・天然物ならびに糖鎖機能調節による脳神経系疾患の予防・治療法の開発 ・シナプス形成分子のエピジェネティクスな調節に基づく小児自閉症の病態解明 ・エピジェネティクス機構に基づいたグリア細胞における抗精神病薬の作用機序の解明
社会医学	教授 准教授 助教 特任助教(出生コホート研究センター)	山縣 然太郎 鈴木 孝太 横道 洋司 佐藤 美理	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝要因を加味した疾病予防(健康予知)に関する分子遺伝疫学研究、および母子保健を中心とした地域保健学研究 ・生活習慣病予防のための生活習慣改善優先順位システム ・胎内環境および出産後早期の環境・生活習慣が、子どもの健康に与える影響を、縦断的なデータの解析方法(マルチレベル解析)などを用いることで探る研究 ・独立確率変数列の極限分布
分子情報伝達学	教授 准教授	北村 正敬 姚 建	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子工学的バイオセンサー(センサー機能を備えた遺伝子発現システム)による、体内の炎症性疾患等の病勢把握 ・遺伝子工学的バイオセンサーによる環境中有害化学物質のモニタリング ・遺伝子工学的バイオセンサーによる小胞体ストレスのバイオモニタリング ・遺伝子工学的バイオセンサーによるタンパク尿制御物質の探索と同定 ・脂肪細胞の分化、増殖、アポトーシスの制御とメタボリックシンドローム ・細胞間コミュニケーションに関わる情報伝達システムの解明
分子細胞生物学	教授	平 敬宏	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患原因解析 ・簡便な高感度診断法の開発 ・ガン遺伝子産物の未知な機能解析
生化学講座 化学	教授	三井 和浩	<ul style="list-style-type: none"> ・カロリー制限による寿命延長機構におけるSirT1の役割の解明 ・酸化ストレスとSirT1の関係 ・脂質代謝調節におけるSirT1とシグナル伝達の関係 ・薬剤によって引き起こされるアポトーシスとSirT1機能の関係解明

講座名	役職	氏名	研究
●臨床医学系講座			
内科学1	教授	榎本 信幸	◆消化管
	准教授	佐藤 公	○食道
	准教授	坂本 穰	・食道癌のESDについて、NBI診断
	講師	大高 雅彦	・バレット食道癌の内視鏡診断、治療、発癌メカニズム
	特任講師	前川 伸哉	・食道静脈瘤治療
	特任講師	井上 泰輔	・食道アカシアの病態、長期経過
	講師・医局長	植竹 智義	○胃
	特任講師	中山 康弘	・早期胃癌の内視鏡診断、ESD相対的適応症例の長期経過
	特任講師	深澤 光晴	・進行胃癌に対する治療戦略と治療成績
	助教	高野 伸一	・胃MALTリンパ腫の内視鏡診断と長期経過、H.pyloriとの関係
	診療助教	進藤 邦明	○小腸
	助教	三浦 美香	・カプセル内視鏡診断、ダブルバルーン小腸内視鏡の臨床応用
	助教	門倉 信	○大腸
	助教	末木 良太	・炎症性腸疾患に対する分子標的治療、成分栄養療法との併用について
	助教	小馬瀬一樹	・大腸癌の発癌メカニズムの解明、大腸癌の遺伝子変化
			・大腸ポリポーシスの遺伝子変化
			・早期大腸癌の内視鏡での範囲・進達度診断
			・放射線性直腸炎に対するアルゴンプラズマ凝固療法
			・機能的胃腸症
			・機能的胃腸症 (Functional dyspepsia) や消化管運動異常疾患の病態
			◆肝臓
			○ウイルス性肝炎の研究
			1.B型肝炎研究
			・B型慢性肝炎に対する核酸アナログ治療についての研究
			・B型慢性肝炎への抗ウイルス治療の肝発癌へ与える影響についての研究
			2.C型肝炎研究
			・C型慢性肝炎に対するPEG-IFN+Ribavirin併用療法についての研究
			・IFN治療へのウイルス遺伝子変異、宿主遺伝子変異の影響についての研究
			・IFN治療に影響を与えるサイトカインの研究
			3.診療支援システムの構築
			・地域診療連携システム(Y-PERS-GF、山梨肝疾患フォーラム)の構築
			・慢性疾患診療支援システムの構築
			○肝細胞癌の研究
			・各種画像(EOB-MRI、造影超音波等)を用いた早期診断、治療に対する研究
			・肝癌早期発見のためのサーベイランス期間についての研究
			・各種治療法(RFA、TACE、リザーバー、放射線)での効果、合併症についての研究
			・肝発癌に関与するウイルス遺伝子の研究
			・非B非C型肝炎細胞癌の研究
			○非ウイルス性肝疾患の研究
			・山梨県における日本住血吸虫症の現状と慢性肝疾患に与える影響
			・自己免疫性肝疾患の疫学と病態の研究
			◆胆・膵
			・膵癌の早期発見、早期診断における研究
			・切除不能進行膵癌における化学療法抵抗因子の検討
			・IPMNの長期予後と進展予測因子の検討
			・膵液の分子生物学的検討による膵腫瘍診断へのアプローチ
			・自己免疫性膵炎の新規マーカーと長期経過
			・膵嚢胞性疾患の鑑別診断と長期予後
			・胆膵疾患における術前病理学的診断(ERCP、EUS-FNA)
			・ERCP偶発症における検討
			・胆膵疾患における造影超音波内視鏡診断
			・Interventional EUSの有用性
			◆実験室
			・肝癌と肝炎ウイルス遺伝子の関連
			・肝炎ウイルス遺伝子と治療効果感受性
			・肝発癌に関連する遺伝子の解析
			・消化管発癌に関連する遺伝子の解析
			・胆道・膵疾患における遺伝子発現の解析

講座名	役職	氏名	研究
内科学2	教授	久木山 清貴	<ul style="list-style-type: none"> ・虚血性心疾患、動脈硬化性心血管病、心不全の先端医療の開発に関する研究 ・ホスホリパーゼA2受容体の解析による心血管病の成因解明と新規治療薬の開発 ・肺癌の有効な内科的治療の開発と普及 ・薬剤溶出性ステントによる気絶または冬眠心筋の機能回復に対する阻害作用に関する研究 ・アディポネクチン受容体の心筋梗塞後心室リモデリングに対する治療効果の検討 ・動脈硬化の治療効果と予後 ・細胞質型ホスホリパーゼA2の虚血再灌流心筋障害への関与およびその機序の解明 ・肺癌での通院抗癌剤治療時のQOLの検討。間質性肺炎の病理分類およびその治療法の検討
	准教授	石原 裕	
	講師	尾畑 純栄	
	講師	川端 健一	
	助教	橋田 吉信	
	助教	斉藤 幸生	
	助教	中村 貴光	
	助教	菱山 千祐	
	助教	渡辺 一孝	
	診療助教	佐野 圭太	
	診療助教	藤岡 大佑	
内科学3	教授	小林 哲郎	<ul style="list-style-type: none"> ・バセドウ病 ・甲状腺癌 ・甲状腺ホルモン不応症 ・甲状腺超音波診断 <p>◆糖尿病・内分泌グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩徐進行1型糖尿病 (SPIDDM) の全国疫学調査。PIDDMをはじめとする1型糖尿病の抗体を探索した結果、新規の自己抗体を数種類発見した。 ・劇症1型糖尿病の発症の予知マーカーとなる可能性もある新規自己抗体を発見し、劇症1型糖尿病の発症にも自己免疫が関与することを見いだした。この自己抗体・抗原が膵β細胞破壊を起こすメカニズムについて研究を行っている。 ・糖尿病、特にβ細胞が破壊されてしまった1型糖尿病の根治治療には膵β細胞量の回復が必要である。膵β細胞の分化に関与していると思われる新規転写因子を複数発見し、その機能をマウスを使って解析して ・アンギオテンシン受容体拮抗薬を用いて腎症の寛解に関する prospective studyを行っており、腎症の寛解に向けて積極的に研究して
	准教授	遠藤 登代志	
	講師	会田 薫	
	講師	太田一保	
	特任准教授	志村浩己	
	助教	大森 正幸	
	助教	金重 勝博	
	助教	川口 章夫	
	助教	田中 昌一郎	
	助教	古屋 文彦	
	特任助教	滝澤 壮一	
	診療助教	秋山 大一郎	
	神経内科学	教授	
准教授		新藤 和雅	
助教		長坂 高村	
診療所教		三輪 道然	
血液・腫瘍内科学	教授	桐戸 敬太	<ul style="list-style-type: none"> ◆ハイポキシア血液学 ○正常造血と低酸素との関連 ・正常な造血幹細胞においてHIF-1の活性化が誘導されること ・造血幹細胞におけるHIF-1活性化にはミトコンドリアからの活性酸素産生が関わっていること ・HIF-1は糖代謝酵素PDK-1の誘導を介して過剰な活性酸素産生に対する防御機構として機能していること ○血液腫瘍とHIFとの関連について ・多発性骨髄腫細胞におけるHIFの恒常的活性化にはIGF-1が関与している ○悪性リンパ腫細胞のLipid Raftの特性とHIFの活性化、骨髄増殖性腫瘍における骨髄の低酸素環境特性などについて研究を進めている。
	助教	三森 徹	
	助教	中島 圭	
	助教	野崎 由美	
	助教	山本 健夫	
小児科学	教授	杉田 完爾	<ul style="list-style-type: none"> ・MLL遺伝子再構成陽性急性リンパ性白血病の幹細胞特性と分子標的療法 ・白血病細胞の細胞傷害因子感受性 ・小児悪性腫瘍に対する同種NK細胞の抗腫瘍効果 ・地域医療に役立つ遺伝子疾患診療センターの設立 ・てんかん児の前頭葉機能障害に関する神経機能解剖学的研究 ・小児閉塞型睡眠呼吸障害の新しい検査法の確立と普及
	准教授・医局長	犬飼 岳史	
	講師	東田 耕輔	
	学部内講師	合井 久美子	
	学部内講師	中根 貴弥	
	学部内講師	星合 美奈子	
	助教	金村 英秋	
	助教	小林 基章	
	助教	杉山 剛	

講座名	役職	氏名	研究
精神神経医学・臨床倫理学	教授	香川 知晶	<ul style="list-style-type: none"> ・最軽度アルツハイマー病脳における酸化傷害:認知機能障害発現との関連性 ・物質依存の分子生物学的研究(ヒト遺伝子から動物行動学的解析まで) ・統合失調症の疾患感受性遺伝子の探索 ・うつ病および軽度ストレス関連疾患に関与する疾患感受性遺伝子の探索 ・フランス哲学、生命倫理学・脳神経倫理学を中心とする応用倫理学 ・最軽度アルツハイマー病脳における酸化傷害:認知機能障害発現との関連性 ・大うつ病に対する片側性ECTの評価:脳血流と認知・記憶の関連研究
	教授	本橋 伸高	
	准教授	布村 明彦	
	健康管理センター准教授	平野 雅己	
	講師	石黒 浩毅	
皮膚科学	教授	島田 眞路	<ul style="list-style-type: none"> ◆柴垣チーム ・Cationic polypeptideによる細胞内導入法を用いた新しい治療薬の基礎研究 ◆川村チーム ・性行為HIV感染におけるToll-like receptorの役割 ◆原田チーム ・悪性黒色腫の転移メカニズムの解明 ・細胞内導入ペプチドを用いた難治性皮膚疾患に対する治療薬開発の基礎研究 ・Maraviroc内服によるHIV感染抑制効果に関する研究 ・皮膚悪性腫瘍の発生におけるAIDの関与 ・HSV感染防御における皮膚由来マスト細胞の役割の解明 ・担癌宿主におけるSTAT3阻害剤(GRIM-19)を用いた抗腫瘍効果の研究
	准教授	柴垣 直孝	
	講師(外来医)	川村 龍吉	
	講師(病棟医)	原田 和俊	
	助教	猪爪 隆史	
	助教	安藤 典子	
	助教	青木 類	
	助教	花輪 書絵	
	助教	佐野 信也	
	准教授	百澤 明	
	(形成外科)		
	助教(形成外科)	赤澤 聡	
特任助教(形成外科)	許 明和		
外科学1	教授	藤井 秀樹	<ul style="list-style-type: none"> ・肝類洞機能を付加した人工肝臓補助装置の開発 ・大腸ポリープの発育形態の多様性と悪性度 ・肝細胞癌に対する肝切除術を主軸とした集学的治療法の確立。慢性日本住血吸虫症の肝癌患者の予後に与える影響 ・Triple negative乳癌症例の抗癌剤感受性試験と免疫組織染色の関連 ・膵癌における癌免疫療法 ・肝免疫と肝疾患との関連に関する研究 ・Epstein-Barr virus関連胃癌での局所免疫反応とケモカインの検討 ・小型大腸癌の浸潤、転移における蛋白分解酵素の役割の解明
	講師	飯野 弥	
	講師	松田 政徳	
	助教	井上 慎吾	
	助教	川井田 博充	
	助教	河口 賀彦	
	助教	河野 寛	
	助教	須藤 誠	
	助教	森 義之	
	診療助教	土屋 雅人	
	診療助教	細村 直弘	
	外科学2	教授	
准教授		鈴木 章司	
講師		高野 邦夫	
助教		腰塚 浩三	
助教		奥脇 英人	
助教		加賀 重亜喜	
助教		松原 寛知	
助教		蓮田 憲夫	
助教		榊原 賢士	
助教		宮内 善広	
診療助教		本橋 慎也	
診療助教		神谷 健太郎	
整形外科	教授	波呂 浩孝	<ul style="list-style-type: none"> ・椎間板ヘルニアの自然退縮における分子細胞メカニズムと、およびその周囲環境について ・腫瘍に対する新たな治療の試み ・骨・軟骨系細胞の分化に関する研究 ・関節炎、リウマチ系疾患の発症メカニズムの解析 ・脊椎変性疾患に対する低侵襲治療の開発 ・骨軟部腫瘍に対する光線療法
	臨床教授	萩野 哲男	
	講師	佐藤 栄一	
	講師	江幡 重人	
	助教・医局長	佐藤 信隆	
	助教	谷口 直史	
	助教	安藤 隆	
	助教	市川 二郎	
助教	若生 政憲		

講座名	役職	氏名	研究
脳神経外科学	教授	木内 博之	<p>◆脳血管性障害グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破裂脳動脈瘤が生活の質に及ぼす影響に関する全国調査に参加 ・脳内視鏡や各種モニタリングを用いた手術法の検討 ・脳虚血後に生じる神経細胞の保護を目的とした、その機序の解明 <p>◆脳腫瘍グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍ワクチン療法(SART3+樹状細胞) <p>◆脊髄・脊椎グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脊髄硬膜管からの髄液漏出診断治療 ・脳槽シンチグラフィを用いた髄液漏出の診断法について研究 <p>・脳虚血耐性現像における情報伝達系の解明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳脊髄液漏出および髄液喪失状態の基礎的・臨床的研究 ・次世代デジタル式手術用顕微鏡の開発 ・脳血管障害の治療
	准教授	堀越 徹	
	講師	杉田 正夫	
	助教	佐藤 英治	
	助教	内田 幹人	
	助教	佐藤 崇	
	助教	川瀬 智之 西山 義久	
麻酔科学	教授	松川 隆	<p>◆体温</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウサギを用いた、各種薬剤投与下・各種条件下でのシバリング閾値温度に与える影響 <p>◆心筋代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラットの摘出心臓標本 ・Ulinastatin, A Protease Inhibitor, Attenuates Protamine-Induced Cardiotoxicity in Rats by Inhibiting Tumor Necrosis Factor Alpha. <p>◆脳循環</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤の脳循環に与える影響を、クラニアルウインドウ法を使用して検討 ・ウサギの大動脈弓を露出し、腕頭動脈、総頸動脈、鎖骨下動脈をクランプすることによる全脳虚血モデルを作成することで、虚血前後の薬剤の与える影響を検討 ・脳血管に対するRhoキナーゼ阻害薬の直接的効果の検討-cranial window法を用いて ・わが国における Monitored Anesthesia Care の安全性の検討 ・脳虚血再灌流時のクロマカリム、デクスメトミジン、ローキナーゼ阻害薬の脳保護効果 ・麻酔薬の脳微小循環に及ぼす影響 <p>◆婦人科腫瘍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸部発癌機構の解析と臨床応用 ・子宮頸部胃幽門腺化生病変の解析 ・子宮頸部腫瘍の臨床病理学的検討 ・細胞診診断向上を目指した研究 ・腹膜原発性腺癌、卵管癌や絨毛性疾患などの特殊症例に対する診断、治療向上を目指した研究 <p>◆周産期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胎児先天性心疾患の出生前診断 ・早産の予防 ・助産外来および院内助産 <p>◆生殖内分泌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体細胞からクローン技術を用いて、配偶子を作成する技術の基礎的研究 <p>◆女性のヘルスケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択的エストロゲン受容体モジュレーター (SERM) の腫瘍発生との関連についての病理学的、内分泌学的な研究 ・各種製剤による血液凝固線溶系への影響について研究し、血栓形成のリスクを早期に検出するためのバイオマーカーについて研究を行う予 <p>◆基礎的研究</p> <p>分娩後に母獣に虚血性臓器傷害や薬剤性臓器傷害を誘発することで、傷害臓器において臓器特異的な細胞形態を有する胎児細胞が検出されることを報告している。</p> <p>PAPCsが母体の免疫学的排除を受けないという特殊性を利用した再生医療への応用について研究を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精子の構造と受精能、発生能について ・HPV感染から子宮頸癌発生におけるHPVゲノムの組込みと癌抑制遺伝子の関連 ・HPV感染が関与しない子宮頸部腺癌の自然史の解明とその臨床応用
	准教授	小口 健史	
	准教授(手術)	石山 忠彦	
	学部内講師	岩下 博宣	
	講師	奥山 克巳	
	講師	飯嶋 哲也	
	学部内講師	佐藤 宏明	
	学部内講師	渋谷 和広	
	助教(手術部)	正宗 大士	
	助教	寺田 仁秀	
	助教	木内 理子	
	診療助教	中嶋 絵美	
	診療助教(手術部)	古藤田 真和	
	診療助教	近藤 聡子	
診療助教	熊倉 康友		
助教	中楯 陽介		
産婦人科学	平田 修司	<p>◆婦人科腫瘍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸部発癌機構の解析と臨床応用 ・子宮頸部胃幽門腺化生病変の解析 ・子宮頸部腫瘍の臨床病理学的検討 ・細胞診診断向上を目指した研究 ・腹膜原発性腺癌、卵管癌や絨毛性疾患などの特殊症例に対する診断、治療向上を目指した研究 <p>◆周産期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胎児先天性心疾患の出生前診断 ・早産の予防 ・助産外来および院内助産 <p>◆生殖内分泌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体細胞からクローン技術を用いて、配偶子を作成する技術の基礎的研究 <p>◆女性のヘルスケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択的エストロゲン受容体モジュレーター (SERM) の腫瘍発生との関連についての病理学的、内分泌学的な研究 ・各種製剤による血液凝固線溶系への影響について研究し、血栓形成のリスクを早期に検出するためのバイオマーカーについて研究を行う予 <p>◆基礎的研究</p> <p>分娩後に母獣に虚血性臓器傷害や薬剤性臓器傷害を誘発することで、傷害臓器において臓器特異的な細胞形態を有する胎児細胞が検出されることを報告している。</p> <p>PAPCsが母体の免疫学的排除を受けないという特殊性を利用した再生医療への応用について研究を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精子の構造と受精能、発生能について ・HPV感染から子宮頸癌発生におけるHPVゲノムの組込みと癌抑制遺伝子の関連 ・HPV感染が関与しない子宮頸部腺癌の自然史の解明とその臨床応用 	
	端 晶彦		
	笠井 剛		
	奥田 靖彦		
	奈良 政敏		
	大森 真紀子		
	正田 朋子		
	深沢 宏子		
	小笠原 英理子		
	大木 麻喜		
	笠井 真祐子		
	多賀谷 光		

講座名	役職	氏名	研究
泌尿器科学	教授	武田 正之	<ul style="list-style-type: none"> ・前立腺肥大症、腹圧性尿失禁などの排尿障害に対するの、神経受容体・神経伝達物質などの研究。新しい治療薬としての可能性のある物質の発見 ・前立腺がん、腎臓病、勃起障害などで重要な働きのあるプロスタグランジンとその受容体などに関する研究 ・膀胱がんや前立腺がんに対する新しい化学療法の開発 ・腎不全患者の治療法である人工透析や腹膜透析の際に対する新しい治療法の開発 ・腹腔鏡下手術、小切開手術などの低侵襲手術法の開発・普及 ・女性骨盤底障害(腹圧性尿失禁、膀胱脱など)の患者に対するの、TOTスリング手術や人工材料によるメッシュ補強術などの新しい低侵襲手術の開発 ・間質性膀胱炎の疼痛に対するボツリヌス毒素、トリカブト毒の作用機序 ・感性脳科学に基づく補聴・聴診機器の要素開発 ・前立腺癌の検出 ・筋層非浸潤膀胱癌の再発予防 ・進行前立腺癌の集学的治療
	講師	深澤 瑞也	
	講師	土田 孝之	
眼科学	教授	飯島 裕幸	<ul style="list-style-type: none"> ・眼底疾患の視野と画像解析 ・緑内障基礎臨床研究、診療連携システムの開発、眼科遠隔診療システム ・角膜疾患とエキシマレーザー ・糖尿病網膜症における黄斑浮腫治療 ・定量的形態解析法を用いた閉塞隅角緑内障の発症危険因子の解析 ・原発開放隅角緑内障感受性遺伝子の検索
	准教授	今井 雅仁	
	准教授	柏木 賢治	
	講師	高橋 博	
	助教	間瀬 文彦	
	助教	後藤 輝彦	
	助教	地場 達也	
	助教	大城 智洋	
	助教	櫻田 庸一	
	診療助教	中澤 哲治	
診療所教	館野 泰		
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授	増山 敬祐	<ul style="list-style-type: none"> ・頭頸部癌に対する新しい化学免疫療法の開発 ・感性脳科学に基づく補聴・聴診機器の要素研究 ・頭頸部癌における癌幹細胞に対する基礎的研究 ・アレルギー性鼻炎の発症機序に関する新たなバイオマーカーの探索
	講師	上條 篤	
	講師	近松 一朗	
放射線医学	教授	荒木 力	<ul style="list-style-type: none"> ・CT造影剤使用の適正化の研究 ・MRIを用いた脳や腹部の機能診断 ・バルーン閉塞下逆行性経静脈的硬化術による胃静脈瘤の治療 ・肺癌の定位放射線治療 ・定位放射線治療の治療技術開発と応用 ・肝癌定位放射線治療の肝機能への影響
	助教	市川 智章	
	助教	大西 洋	
	講師	荒木 拓次	
	講師	南部 敦史	
歯科口腔外科学	助教	中野 佳央	<ul style="list-style-type: none"> ・顎顔面領域における三次元形態計測 ・超音波照射による顎骨嚢胞の治療促進効果に関する研究
	助教	樋口 雅俊	
	助教	中澤 龍一	
救急集中治療医学	教授	松田 兼一	<ul style="list-style-type: none"> ・多臓器不全(MOF)などの重症症例の病態を解明するため、Cytokine Network, 心拍変動など様々な面からの検討 ・重症症例に対する血液浄化法による治療の確立 ・Liquid Ventilationなどの新しい治療法の開発 ・小児DCM症例の緩徐血漿交換+持続的血液濾過透析 ・酸素封入ナノバブル分散液を用いた液体換気に関する基礎的研究
	講師	針井 則一	
	助教	柳沢 政彦	
	助教	小泉 敬一	
	助教	三井 一葉	
臨床検査医学	教授	尾崎 由基男	<ul style="list-style-type: none"> ・新規血小板活性化受容体CLEC-2とその生体内リガンド、ポドプランニン ・ITP発症のメカニズムの解明 ・抗血小板薬の薬効評価 ・アスピリン抵抗性の新規検査法の開発、糖尿病患者での血小板COX-1の糖化とアスピリン抵抗性の関連 ・血栓症の予防を目的とした「特定保健用食品」の開発 ・活性化プロテインC(APC)の抗血小板作用 ・血管壁細胞外物質による血小板活性化メカニズムの解明
	准教授	井上 克枝	
	助教	高野 勝弘	
	助教	井上 修	
	助教	佐藤 金夫	
人体病理学	教授	加藤 良平	<ul style="list-style-type: none"> ・甲状腺癌の遺伝子背景と分化誘導治療に関する研究 ・甲状腺転写因子TTF-1のエピジェネティクス制御と癌の分化誘導に関する研究 ・早期大腸癌の浸潤・転移のメカニズム ・虚血環境下の高悪性腫瘍(甲状腺未分化癌)における新生血管構造の解明
	准教授	近藤 哲夫	
	学部内講師	山根 徹	
	助教	中澤 匡男	
	助教	川崎 朋範(病理部)	
		望月 邦夫	
地域医療学	教授	佐藤 弥	<ul style="list-style-type: none"> ・病院経営管理に資するシステム(財務・運用・電子カルテ) ・病院の機能向上にかかる計画の策定 ・地域における病院機能 ・医師不足解消に向けた方策の検討と実施 ・電子カルテにおける有効な記載方法の検討 ・医療政策への対応 ・地域医療政策について ・医療の質評価についての研究 ・病院および地域医療情報の収集と活用に関する研究 ・簡便な「健康マイカルテ」の運用研究 ・敗血症ラット・持続的血液濾過透析法治療モデルの構築および、膜素材による治療効果の比較検討
	特任助教	針井 則一	
	特任助教	赤池 英憲	